

「壁画古墳」が世界遺産登録へ

高句麗文化に “光”当て続け

平山郁夫画伯と一緒に高句麗壁画古墳のユネスコ世界遺産登録に向けた活動をしてきた伊藤利光さん(左)と日田市、電気店経営の「日田」が、七月二日午後七時から、日田市文化センターで「日本文化の形成と日田」と題した講演会を開く。六月末の世界遺産会議で登録が承認される見通しで、それを記念した。

日田市の伊藤さん

高句麗は前一世紀―後 中国・蘇州で開かれる。七世紀、朝鮮半島から中 伊藤さんが古墳にカ国東北部にあった国。三 かわったのは、東京でN―七世紀には、人物風俗 H K文化センターの系列や四神図の壁画古墳が流 会社を設立し、高句麗文化行した。高松塚古墳や九 化を紹介する仕事をした州各地の装飾古墳など、 のがきっかけ。一九八八年、日本古墳壁画にも影響 年、「騎馬民族征服説」を与えている。

高句麗壁画古墳はかつて都があった北朝鮮の平 務局長を務めてきた。境と中国の集安周辺にあ り、伊藤さんによると二 十数基が一括承認される 降、七回訪問。特に九五 見込み。会議は六月二十 年からは平山画伯と一緒 七日から七月三日まで、 に訪れ、ユネスコ代表団

来月 日本との関係探る

のフロテューサーとして、高句麗壁画古墳の世界遺産申請作業をしてきた伊藤さん(左)と日田市の伊藤利光さん(右)が、六月末の世界遺産会議で登録が承認される見通しで、それを記念した。



北朝鮮・平壤近くの江西三墓の前で平山郁夫画伯(右)と一緒に伊藤利光さん。同墓は四神図で有名(2002年4月)

伊藤さんは「高句麗の壁画古墳は日本と関係が深い。やっと世界遺産に員として北朝鮮を訪れ、登録されることになった。今回、伊藤さんの活躍を知り、市民有志が実行委員会(桑野洋輔事務局)を設けて、講演会を企画した。伊藤さんはこの経験を活かして、スライドで高句麗の壁画古墳や日本の古墳などを紹介しながら、両国や日田の文化について話す。一般三百円、大学生以下は無料。問い合わせは事務局の伊藤電気(☎0973・24・3232)。

今月末から中国・蘇州で開かれるユネスコ委員会で、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）の高句麗壁画古墳遺跡が、同国初の世界遺産として登録される予定です。古代九州とも深いつながりがあった高句麗（前1世紀—後7世紀）文化。その華麗な壁画古墳を日田の装飾古墳にも触れながら、5回にわたって紹介します。

七夕伝説が5世紀の高句麗にあったことが分かる
(徳興里古墳)



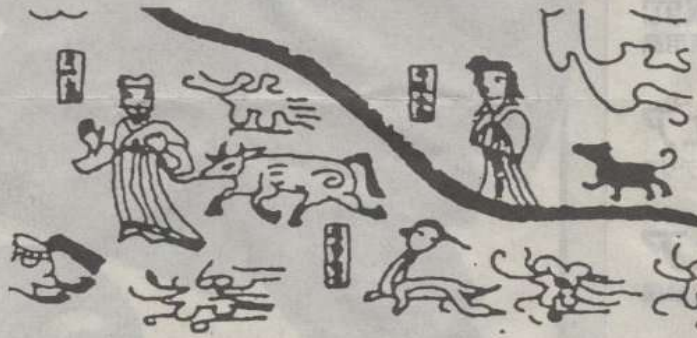
壁面古墳への誘い

いさな

高句麗遺跡、世界遺産へ

～ 1 ～

七夕さまや相撲も“登場”



〈朝鮮遺跡遺物図鑑より〉

渡来した風俗習慣

まかに見て、人物風俗画す。中でも徳興里古墳(四世紀から描かれ、五〇八年)では、日本古来世紀に入ると四神図が加の伝統的な行事や物語をわります。そして、七世紀からは四神図のみと見ることが出来ます。騎馬(やぶさめ)や、牽牛(けんぎゅう)と織女の七夕さまです。安岳三冢墳では、ふんどし姿の力士が相撲や空手をしている図もあります。古代朝鮮から、日本に入ってきた風俗習慣だということが分かります。

筆者は日田市在住の伊藤利光さん。高句麗会事務局長として、ユネスコ親善大使の平山郁夫画伯らと壁画古墳の世界遺産登録に向けた活動をしてきた。伊藤さんは七月二日午後七時から、日田市文化センターで記念講演会を開く。

チマ、チョゴリ姿の水山里古墳の女性像

壁画古墳への誘い いよな

高句麗遺跡、世界遺産へ

～ 2 ～



〈朝鮮遺跡遺物図鑑から〉

平山郁夫画伯は一九六〇年代、高句麗・水山里壁画古墳の女性像をモデルに、チマ、チョゴリ姿の卑弥呼を描きました。七二年に発見された高松塚古墳(奈良県明日香村)七世紀末―八世紀初めの女性群像は、まさにその朝鮮風の服装。千数百

独自ファッション

繊細で優美、宮中に影響

年前、古代日本の風俗は、高句麗に近いものがありました。

高松塚については、八世紀初頭の唐の永泰公主墓の宮女群像の影響説と高句麗説がありました。しかし、八世紀、日本の画師の本流は、高句麗系だったことが多くの資料から明確になっています。

高松塚の壁画を模写した平山画伯も、服装や女性のたすまいから高句麗説です。ただ、高句麗古墳壁画の繊細、優美、流麗さは日本にも中国にもない独自の美しさです。

江上波夫先生は「大化改新で朝廷の公式礼装は中国風に制度化されたが、宮中の服装は朝鮮の風俗を残した」と話していました。

(高句麗会事務局長・伊藤利光―日田市)

壁画古墳への誘い

いさな

高句麗遺跡、世界遺産へ

二〇〇一年、キトラ古 世紀末―八世紀初め）の
墳（奈良県明日香村、七 石室内デジタルカメラ撮



四神図のうち、江西大墓の見事な玄武。 亀と蛇がからみあった想像上の動物

84.06.28

「キトラ」朱雀確認

平壤から見た星空描く

～ 3 ～

影で、南壁に朱雀（すざく）の壁画が確認されました。この発見で、日本の古墳にも、高句麗の壁画古墳に描かれた四神図が出そろいました。

かつて日田市石井のガランドヤ一号墳にも四神図がある、と壁画を模写した日本画家の日下八光先生が指摘しています。

高松塚古墳で星宿図が発見された当時、「高句麗壁画古墳の影響はありえない」と言った日本の学者がいました。

ところが、キトラ古墳で発見された星宿図について、学術調査団がコンピュータ―解析をした結果、高句麗の首都・平壤から見た星空をもとに描かれていたことが分かりました。観測年代は紀元前三世紀―後三世紀とされています。

（高句麗会事務局長・伊藤利光―日田市）



壁面古墳への誘い

いざな

高句麗遺跡、世界遺産へ

～ 4 ～

日田の装飾古墳は、赤と緑の二色で描かれています。船、鳥、動物、人物、同心円文、円文などの幾何学模様。死者の葬送儀礼が主題となっています。

しかし、画法が稚拙で人物肖像画がありません。装飾古墳の分布が九州、関東、東北と畿内か

日田市の穴観音古墳の壁画。実物は分かりにくい。ため、写真の上から線をなぞった。絵の主題は長江文明の稲作、漁労文化の影響を受け、古墳の横穴式石室と石組み技法は高句麗系統と思われる

葬送儀礼の船や鳥

「長江文明が主題」の説も

ら遠隔地にあるため、大和朝廷の威光を恐れて死後世界の生活図や人物画がないとの推測もできません。最近では長江中流の文明の流れが主題になっているのではないかとの説も出ています。

長江文明を担った苗族（みやおぞく）が雲南省などの山岳地帯へ、一部は海を渡って日本列島に移住した結果、稲作・漁労の民の文化が弥生時代にやってきたとも言われます。

彼らの信仰の対象が太陽であり、鳥です。移住も船旅です。葬送と移住の船が重なり、日田の古墳に数多くの船の図を見ることができるといいます。

（高句麗会事務局長・伊藤利光＝日田市）

7月1日に高句麗古墳遺跡は世界遺産に登録されました。日本の熊野古道も同時に決定しました。(大分合同新聞夕刊より7月1日)

壁画古墳への誘い

高句麗遺跡、世界遺産へ

いざな
～ 5 ～

ことし4月、北朝鮮を訪れた平山画伯夫妻(中央)と伊藤さん(右端)の真上と、安岳3号墳の墓主の像



ユネスコ世界遺産委員会は世界二十一カ国の政府代表で構成されています。中国の蘇州で日本代表も参加して、「高句麗壁画古墳遺跡」と日本の「熊野古道」が同時に承認される予定です。これに先立ち、日本ユネスコ代表団は、四月中旬に訪朝し、「高句麗古墳保存センター」建設の

平和のきっかけに

古代の交流 今へつなげて

ため、三十万ドルを寄贈し、定地は、平壤の大同江沿いにあったの楽浪中心部です。

平山画伯は高句麗古墳の世界遺産登録を周りの国々が応援し、その過程が北朝鮮をめぐる諸問題を平和的に解決できるきっかけになればと願ってきました。

高句麗の壁画古墳には、古代の日朝の関係を明らかにする鍵があるように思えます。その文化交流を今につなげ、東アジアの平和につながってほしいと思っています。

(高句麗会事務局長・伊藤利光(日田市))

あす講演会

二日午後七時から、日田市文化センターで、伊藤さんによる記念講演会「日本文化の形成と日田」がある。

郁夫画伯が目録を手渡しました。センター建設予

|| 終わり ||

昨日7月1日に高句麗古墳遺跡は世界遺産に登録されました。日本の熊野古道も同時に決定しました。(大分合同新聞朝刊より7月2日)

世界遺産に登録決定



高句麗壁画古墳に描かれた人物

高句麗古墳群 北朝鮮で初

【蘇州(中国江蘇省) 1日共同】国連教育科学文化機関(ユネスコ)の第二十八回世界遺産委員会は一日、北朝鮮が推薦した「高句麗古墳群」の登録を決めた。北朝鮮では初の世界遺産。中国山都夫氏が再三訪朝するなかで尽力。日本政府も両国関係改善に向け二〇〇〇年から資金協力しており、遺産登録は日朝間の文化交流にも好影響を与えると思われる。平壤近郊などに位置し、今回登録される六十三基の北朝鮮の高句麗古墳群には色鮮やかな壁画もあり、高松塚古墳(奈良県)の極彩色の壁

画に影響を与えたとされる。高句麗(紀元前一世紀後半～六六八年)は最盛期には朝鮮半島北部から中国の東北地方にかけて栄えた古代王国で、中国側の吉林、遼寧両省にも首都の遺跡や壁画古墳が残っている。

北朝鮮は自国内の古墳群を単独登録しようと、昨年の委員会に推薦したが、中国が反対し見送られた経緯がある。平山氏と一緒に高句麗古墳群の世界遺産登録に向けた活動をしてきた伊藤利光さん(77)は「日田市は『素晴らしい壁画古

文化で平和に

国連教育科学文化機関(ユネスコ)親善大使として高句麗古墳群の世界遺産登録に尽力した平山郁夫東京芸芸大学長(日本画家)の話。これまで九回、訪朝して登録のアドバイスを重ねてきただけに「ようやく…」という思いだ。中朝間の歴史認識の問題はあろうが、北朝鮮にとっては民族の誇り、大きな精神的支柱になると思う。すでに古墳の保存について各国から技術的、資金的援助の申し出がある。日朝間の懸案が解決すれば、日本ももっと手が差し伸べられる。北朝鮮もそうした援助を受け入れられる開かれた態勢をつくり、ひいては文化による平和へのソフトランディングにつなげてほしい。

墳で、登録が決まって良かった。古墳のある平壤には、古代日本と関係の深い染浪遺跡もある。現地には古墳の研究センターが建設されており、研究を通して日本と北朝鮮の文化交流に期待している」と喜んでいる。

古墳と古代日田をみつめ

04.06.27 西日本



日田盆地の文化は、朝鮮半島や南洋諸島などアジア的視野で見たい、と話す伊藤さん

日本画家の平山郁夫氏らと壁画古墳で知られる古代高句麗文化を日本に紹介してきた高句麗会事務局長の伊藤利光さん(74)が、日田市電氣工事店経営の講演会「日本文化の形」と日田(西日本新聞社など後援)が、七月二日午後七時から、日

高句麗会事務局長の伊藤さん

来月2日に講演会

日田市

故郷・日田の古代にも触れる。日田盆地には、石器時代から古墳時代

田市上城内の市文化センターで開かれる。

日本ニューメディアの社長も務め、このとき、高句麗文化をめぐり、平山氏、

「騎馬民族征服説」で知られる故江上波夫東大名教授授らとの親交が始まった。一九八五年から二年間、全

日本ニユーメディアの社長も務め、このとき、高句麗文化をめぐり、平山氏、

「騎馬民族征服説」で知られる故江上波夫東大名教授授らとの親交が始まった。一九八五年から二年間、全

国主要十三都市で「高句麗文化展」をプロデュース、この後、江上氏を会長に高句麗会を設立、事務局長となった。

九二年以降、七回北朝鮮を訪れ、九五年からは平山氏とユネスコ代表団のプロデューサーとして訪朝し、

高句麗壁画古墳の世界遺産登録申請作業に協力。その

高句麗壁画古墳は、七月七

当日は、入場整理券(三百円)が必要。中・高校生は資料代のみ百円。問い合わせは、講演会事務局 0973(24)32

高句麗壁画古墳は、七月七